

# 海外支援プログラム実験終了報告書

2018年 10月 28日

実験者 1 (氏名・所属) : 左右田稔・理化学研究所
実験者 2 (*1) (氏名・所属) :
研究代表者 (氏名・所属) : 左右田稔・理化学研究所
中性子散乱課題番号・装置名 : 18812・iNSE
実験課題名 (*2) : 磁気スキルミオン $\text{MnSi}_{1-x}\text{Ge}_x$ におけるダイナミクス
利用施設・装置 : ILL・IN15
利用期間 : 2018年 10月 17日 ~ 2018年 10月 25日
実験の概要 (*3) :  MnSi におけるスキルミオンのダイナミクスを明らかにするため、ILL・IN15 を用いて中性子スピンエコー測定を行った。スキルミオン相(T=28.4 K, H=0.17 T)、高温相(T=70 K, H=0.17 T)、コニカル相(T=2 K, H=0.17 T)でエコーシグナルを測定し、磁気相の違い、磁場の向きの違いによってどのようにシグナルが変化するか観測した。

(\*1) 1 人のみ支援を受けた場合は空欄でお願いします。

(\*2) 物性研中性子共同利用で採択された課題名です。

(\*3) 簡単な記述で構いません。この報告書の提出をもって、旅費が支給されます。また、実験終了後 2 ヶ月以内に物性研 ISSP-NSL Database (<http://quasi.issp.u-tokyo.ac.jp/db/index.php>) から activity report の提出をお願い致します。